

付属書

定義

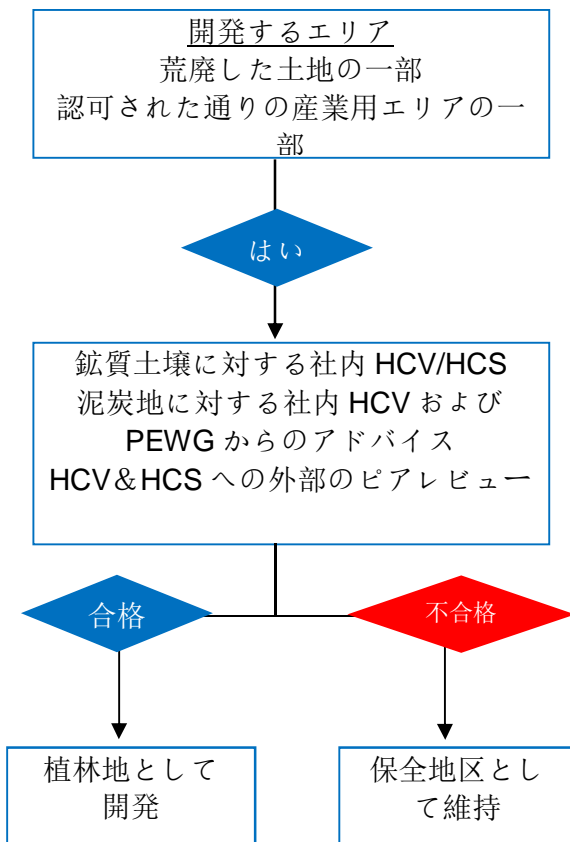
保全地区

産業用森林エリア内で保全のために開発から除外された森林地区のこと。政府規則では、コンセッションエリア全体のうち約10%を保全用に確保することが求められている。高保護価値（HCV）評価により、さらに保全すべき地区の特定が行われる。

出典：エイプリル社の持続可能な森林管理方針（SFMP）1.0の補足事項（この中では「保全ゾーン」と定義）

デミニミスルール

デミニミスルールにより、既存の植林地コンセッション内の隔離された小さな領域については、ピアレビューによる評価プロセスで高保護価値（HCV）または高炭素貯蔵（HCS）に分類されていない場合に限り、効率性と景観計画のために有益に作用することを考え、伐採が可能。



注：PEWG＝泥炭専門家ワーキンググループ



生態系回復

長年の間に、荒廃、ダメージ、破壊が進んだ森林地区の生態系回復を支援するプロセス。生態系回復とは、その地区の構造特性、生物種の構成、生態系のプロセスを再構築すること。

出典：エイプリル社のSFMP1.0の補足事項

サプライチェーンから自然林伐採を排除

2015年6月3日より、エイプリル社とそのサプライヤーが開発を行うのは、独立したピアレビューによる高保護価値（HCV）および高炭素貯蔵（HCS）評価で特定された森林以外の領域のみに限定される。2015年5月15日以前に伐採された混合広葉樹の残余分については、2015年12月末までにエイプリル社の工場にて使用可能。

自由意思による事前の十分な情報に基づく同意（「FPIC」）

コミュニティの人々が慣習的に所有、占有、あるいはその他の形で使用している土地に影響を及ぼす可能性のあるプロジェクトの提案に対して、コンセッションに許可を出す前に、コミュニティにはこれに同意する、またはしない権利があるという原則

伐採

本方針においては、伐採とは切り倒す活動を意味する（市場で販売できる樹木を切り倒す活動）。それゆえ、伐採後の活動として別途定義されるのは、木寄せ作業、巻き立て作業、運材、植林のための開墾。

高炭素貯蔵（HCS）

高炭素貯蔵（HCS）森林は、HCSツールキットを用いて特定された森林。HCS森林は、保護対象としての優先順位が高い。

出典：HCS手法ツールキット、バージョン1.0、2015年3月

<http://highcarbonstock.org/the-hcs-approach-toolkit/>

高保護価値（HCV）

高保護価値（HCV）は、自然な生態系または従来の手法により管理されてきた生態系が持つ生物学的、生態学的、社会的、文化的価値や特性であり、国家的、地域的、地球的レベルで極めて大きな影響を持つ/あるいは非常に重要と考えられるもの。HCV管理エリアは、景観における重要なエリアであり、そこに存在する1つ以上の価値を維持し、高めるために適切に管理される必要がある。そうした特性を有するエリアを以下に挙げる。

- HCV1: 世界的、地域的または国家的に考えて、生物多様性の価値が集中しているエリア（例：固有種、絶滅危惧種、退避地）
- HCV2: 世界的、地域的または国家的に考えて重要な景観で、生存能力のある個体群のすべてではなくとも大部分が自然な分布と個体数で自然に生息している。
- HCV3: 希少で、脅威にさらされているもしくは絶滅が危惧される生態系の中にあるまたはそれを含むエリア
- HCV4: 危機的な状況において、基本的な生態系の機能を果たすエリア（例：水域保護、砂防）
- HCV5: 現地コミュニティの基本的ニーズを満たすために不可欠なエリア（例：生活、健康）
- HCV6: 現地コミュニティの伝統的、文化的アイデンティティにとって重要なエリア（当該の現地コミュニティと協力して、文化的、生態学的、経済的または宗教的に重要と特定したエリア）



出典：HCSリソースネットワーク

先住民

ある国または地理的地域に、異なる文化または民族的起源を持つ人々が来る前に、すでにそこに居住していた人々のこと。

出典：http://www.un.org/esa/socdev/unpfii/documents/5session_factsheet1.pdf

独立した検証監査役

ステークホルダー諮問委員会（SAC）によって任命された外部の監査法人で、エイプリル社のSFMPの実施について評価する。

景観

異種混在空間における社会生態学的システム

出典：シャー、シェイムス、フリードマン、2013年

景観アプローチ

多様なステークホルダーがひとつになり、景観および / または海景における複数の、時にはぶつかり合う目標間での調和を図ることを目指す長期的な連携プロセス。

出典：ジェフリー・セイヤー教授

長期供給パートナー

エイプリル社のスマトラ島のケリンチ工場のみ植林地による原料を供給する長期にわたるサプライヤー。エイプリル社の植林地原料の自己生産は、エイプリル社の自社植林地および長期供給パートナーの植林地から調達した植林地原料により達成している。

混合広葉樹

紙パルプ生産の文脈で使用される「混合（熱帯）広葉樹」という用語は、程度の差はあるが基本的に熱帯森林における広葉樹の自然な混合を表す。

出典：<http://www.fao.org/docrep/k0050e/k0050e09.htm>

非森林性泥炭地

非森林性エリアとは、独立した高保護価値森林（HCV）および高炭素貯蔵（HCS）評価で非HCVおよび非HCSに分類された森林エリア。基本的に荒廃した森林、低木地または草地であり、コミュニティへの価値または環境価値がほとんどない。

泥炭地

泥炭地は、程度の差はあれ基本的に腐敗分解された植物（腐植土）の雑多な混合物が、水に浸った環境と酸素のない状態で堆積した場所。



出典: <http://www.peatsociety.org/peatlands-and-peat/what-peat>